

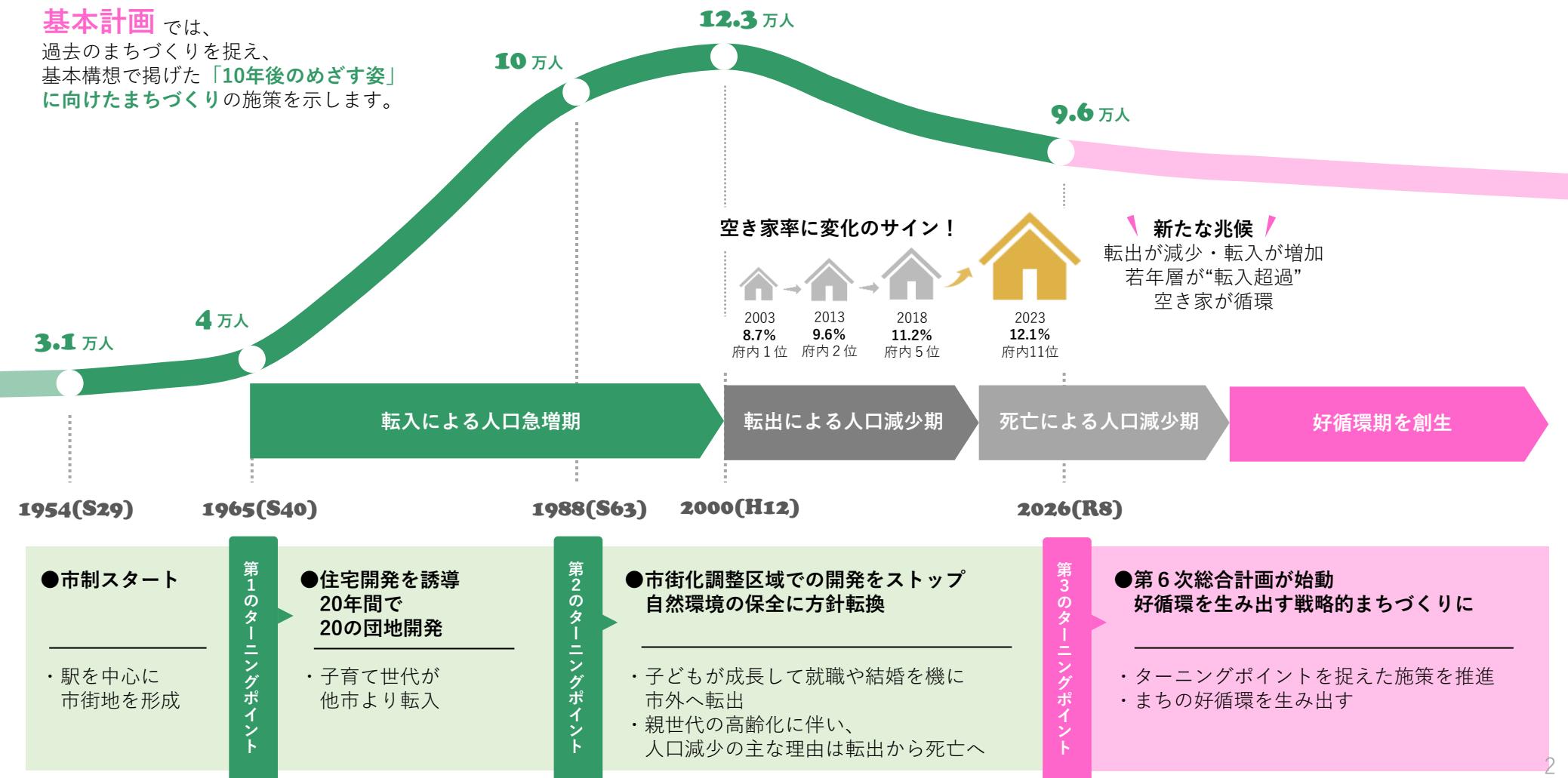
2026 >
2035

ふだんを生きる、じぶんが生きる。
知るほど暮らすほど「好き。」が深まる千年都市。



河内長野のこれまで（第3のターニングポイント）

基本計画では、
過去のまちづくりを捉え、
基本構想で掲げた「10年後のめざす姿」
に向けたまちづくりの施策を示します。



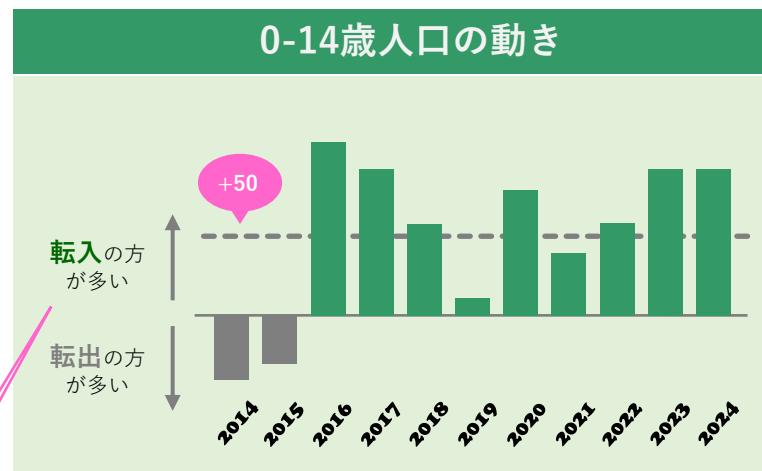
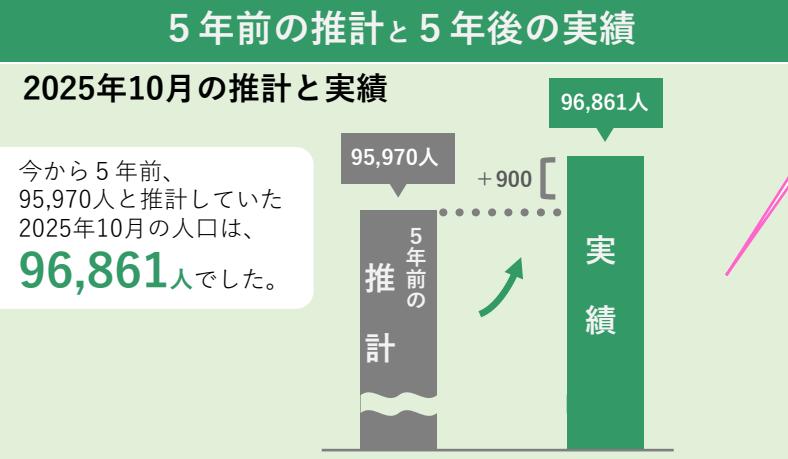


河内長野のいま（明るい兆し）



明るい兆し

これまで、河内長野の人口は推計より実績の方が下回っていましたが、
近年では、予測したほど人口減少は進まず、**実績が推計を上回る**ようになりました。
また、河内長野に移住したいと思っても場所がありませんでしたが、**空き家の循環**が始まり、
そこに新たなファミリー世帯が入るなど、**若年（0-14歳）人口は、9年連続“転入超過”**で推移しています。



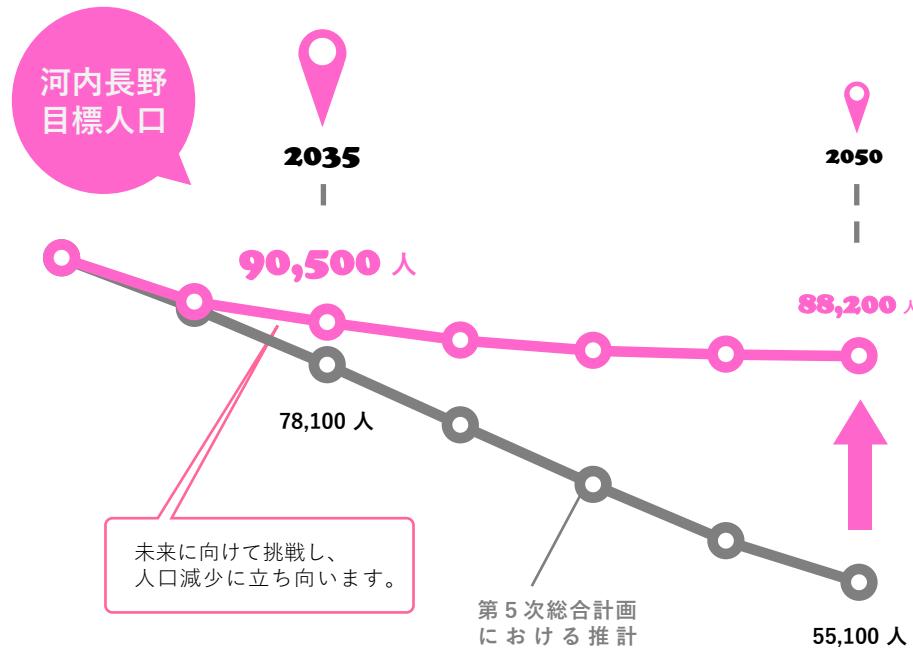
安定して転入が転出を超えるように。



河内長野のこれから（目標）

目標人口は、2035年に **90,500** 人とします。

これから河内長野は、今よりもっと安心して暮らせるまちになるため、
子育て支援と教育環境の充実を最優先に、次の世代を支える確かな土台を築いていきます。
また、まちの魅力を高めるとともに、かわらずながく守ってきた魅力を子育て世代を中心に広く伝え、
ここでの暮らしを選んでもらえるまちへと変えていきます。
未来を見据えた挑戦に、皆さんとともに力を合わせて取り組んでまいります。



Q 目標人口はどのようにして算出したの？

A 現在、河内長野の空き家率は約10%です。
そこで、これから増える空き家のうち、
90%に新しくファミリー世帯が転入してくると仮定して
算出しています。
今後も空き家率を10%以内に抑えることをめざしていきます。

もっと詳しく

- ① 2025年9月末の住民基本台帳の登録人口を起点としてコーホート法で推計
(国立社会保障・人口問題研究所の生残率と移動率を使用)
- ② 大阪府全体の世帯主割合の将来推計を参考にして、
河内長野市における今後の世帯主割合を算出
- ③ 転入出がない、出生と死亡だけの人口（封鎖人口）を推計し、
封鎖人口に②の割合をかけ、死亡により世帯が減少する数を算出
- ④ 減少する世帯数の90%のうち、
2/3はファミリー世帯（5～9歳の子どもと30代前半男女）、
1/3は若年夫婦（20代後半男女）が転入すると仮定して①に加算



河内長野の将来のまちのかたち

ネットワーク型コンパクトシティを継承します。

5つの谷と丘陵部を切り拓いた住宅地が広範囲に広がるまちの特徴を踏まえ、拠点とネットワークにより構成する集約型連携都市（ネットワーク型コンパクトシティ）をめざします。

河内長野駅を都市拠点、千代田駅と三日市町駅を地域拠点と位置づけ、それぞれの駅の周辺に都市機能を集積させた歩いて暮らせるゾーンを設定します。また、都市機能の拠点として、行政拠点、消防・防災拠点、地域活性・交流拠点を位置づけます。

3駅を核として、公共交通ネットワークでつながるまとまりを地域圏に設定し、住民の日常サービスを確保します。

産業集積を図る活力創造ゾーンを設定し、雇用を創出します。

南部に広がる開発団地の拠点として丘の生活拠点を位置づけるとともに、一体型共創ゾーンでは、地域の実情に応じた特色あるまちづくりを進めます。

古くからのまちなみも残る里のエリアと豊かな自然が広がるエリアに自然と歴史の保全・活用ゾーンを設定し、まちを彩る自然と歴史を守り継ぎます。



●	拠点
○	地域圏
■	まちのエリア
□	丘の住宅地エリア
▢	里のエリア
▢	森のエリア
□	活力創造ゾーン (住宅地を除く)
▢	一体型共創ゾーン
■	歩いて暮らせるゾーン
↔	鉄道交通軸
↔	広域都市交通軸
↔	構想軸
↔	歴史軸

ふだんを生きる、じぶんが生きる。 知るほど暮らすほど「好き。」が深まる千年都市。

10年後、私たちはどんな「ふだん」を生きているのだろう。

- ➡ 1 まちが元気、みんなも元気。
- 2 ホタルも、子どもたちも、光ってる。
- 3 揺るがない安全と安心感。
- 4 人のつながりも、大きな安心に。
- 5 暮らしの中に、「できる。」がふえる。
- 6 好きなときに、好きなところへ。

「じぶん」が生きるまちって、どんなまちだろう。

- 7 みんなが、主役。みんなが、ファン。
- 8 支えて、支えられて、活かし合って。
- 9 あたらしい一歩、踏み出し放題。
- 10 地域がまるごと、学校。
- 11 学びを、誰かの喜びに。
- 12 住（じゅう）を、もっと自由に。

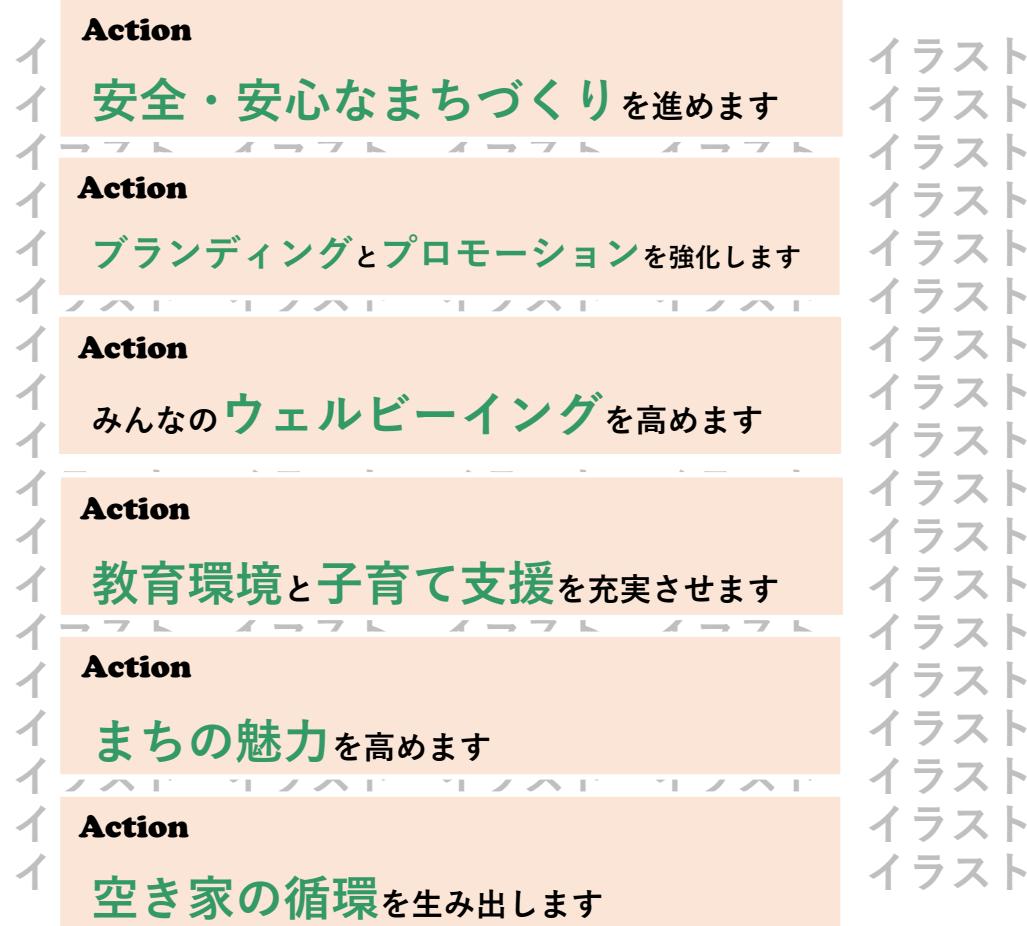
これから、どんな「好き。」を深めていけるだろう。

- 13 まちの顔を、笑顔でいっぱいに。
- 14 サクセスフルな、サステナブル。
- 15 “ここにしかない”時間を求めて。
- 16 地産地消で、日本一の給食カレーを。
- 17 “推し”と出会えて、育てるうれしさ。
- ➡ 18 「好き。」が集まれば、すごい力に。

1

まちが元気、みんなも元気。

深呼吸したくなる豊かな自然、美しく整備されたまち並み、充実した子育て環境、教育や福祉、活気ある産業や観光、農業に林業、そして、人と人の心地よいつながり。10年後の河内長野は、もっと美しくて、もっといきいきしたまちに。みんなの「ふだん」も元気にあふれています。



10年間の指標

- 全体人口
- 転入／転出の率
- 若年（0-14歳）人口の“転入超過”
- 空き家率
- 刑法犯認知件数
- 市公式SNSのフォロワー数

市民の実感

- 今の暮らしに幸せを感じる
- 地域の人々が幸せそうに見える
- まちに愛着と誇りを感じる
- このまちに住み続けたい

2 ホタルも、子どもたちも、光ってる。

河内長野には、子どもたちの成長を豊かに彩る環境があります。

森に生きる野鳥や昆虫たちの観察、

木工教室、農業体験、川遊び、たくさんある公園でかけっこ、子どもたちが顔を輝かせながらホタルを見つめる初夏の夕べ

河内長野の宝は子どもと自然。いつしょにすくすく育っています。

- ゆとりをもって子どもを育てることができて、子育て世代の満足度が上昇！
 - 子どもたちの目は好奇心でキラキラ輝いている。
 - 日本一、子どもの夢が叶うまち。
 - 河内長野の川は、水が透き通っていてきれい！
 - 季節の果物を収穫したり、生きものを観察したり。
 - 調査の公園には、たくさんの親子の笑顔があふれている。

未来に向けて行うこと

- ① 子どもたちの笑顔があふれ、
子育ち・子育てに希望が持てるよう支援します。
 - ② すべての子ども・若者が個人として尊重され、
未来に向かって羽ばたけるように応援します。
 - ③ 生き物がありのまま暮らせるように自然を守ります。
 - ④ みんなが快適に利用できるよう、
公園や緑地の環境を整えます。

〔分野〕

- ① 子育て支援の充実
 - ② 児童福祉の推進
 - ③ 生物多様性・自然の保護
 - ④ 公園・緑地の整備

10年間の指標 | 市民の実感

- 子育て支援が手厚く、安心して子育てができる
 - 子どもたちがいきいきと暮らしている
 - 身近に自然を感じることができる
 - まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある

3 揺るがない安全と安心感。

10年後の河内長野は、今よりもっと安全で、
もっと大きな安心感に包まれて暮らせるまちに。
それを支えているのは、大阪一を誇る地盤の固さと治安の良さだけではありません。
土砂崩れなどの災害への対策や、医療・救急・消防・道路・水道などの基盤づくりが進み、
安全・安心と「同居」できる健康的な毎日が、みんなの誇りになっています。

イラスト イラスト イラスト イラスト イラスト
イラスト イラスト イラスト イラスト イラスト

未来に向けて行うこと

- ① 地震や台風などの災害に備えて、みんなの安全を守るために対策を進めます。
- ② 災害に強い都市インフラを整えます。
- ③ 犯罪が起こりにくい防犯力の高い社会に向けて、防犯環境の整備を進めます。
- ④ みんなが安心してライフステージに応じた検診（健診）や医療を受けられるように、医療機関や医師会等と連携して地域医療を充実させます。

〔分野〕

- ① 防災対策の推進
- ② 都市インフラ（道路・橋梁・上下水道など）の整備
- ③ 防犯力の向上
- ④ 市民の健康意識の向上

10年間の指標 | 市民の実感

- 「安全・安心なまち」と言えば、河内長野。
- 市内のどこにいても緊急車両がすぐに来てくれる！
- 道路の整備がされていて、安心して通行できる。
- 検診（健診）を受けて健康アップ。健康づくりがサポートされている。

- 防災対策が進んでいて安心である
- 都市インフラは適切に維持管理され、安心して利用できる
- 防犯対策が進んでいて治安がよい
- 定期的な検診（健診）の受診や健康的な生活習慣を心掛けるなど、健康づくりに取り組んでいる

4 人のつながりも、大きな安心に。

地域の人たちも、河内長野の安全・安心を支えるのに、大事な役目を担っています。学校に通う子どもたちのための見守り活動や、防災・防犯活動など、一人ひとりの目配り・心配りが、みんなの安心を育んでいます。人と人とのつながりが広がり、深まることで、安心はもっと、大きなものになっています。

イラスト イラスト イラスト イラスト イラスト
イラスト イラスト イラスト イラスト イラスト

- 地域でイベントを見ることが増えた。参加してみようかな。
- 子どもたちが地域のみんなに育てられている。
- 今日のゆいテラスは、誰と会えるかな。
- ご近所付き合いが丁度いい。
「おはよう」「こんにちは」が言い合えるって安心。
- 消防団って頼りになる。ぼくもわたしも消防団。

未来に向けて行うこと

- ① 地域の人たちの助け合いや交流を強化します。
- ② 地域の人たちが協力して活動できるように、拠点となる場所や仕組みを充実させます。
- ③ 災害や犯罪、消費生活の様々なトラブルを未然に防止し、発生してもすぐに対応できるように、消防局や警察との連携をさらに強固にします。

〔分野〕

- ① コミュニティの推進
- ② 協働の推進およびコミュニティ活動拠点の充実
- ③ 災害対応力および犯罪抑止力の向上・消費生活の安定

10年間の指標 | 市民の実感

- 地域活動（自治会・行事等）への市民参加が盛んである
- 自治会の運営が安定的に行われている
- 心配事や愚痴を聞いてくれる人がいる
- まわりの人が困っていたら手助けする
- 防災対策が進んでいて安心である
- 防犯対策が進んでいて治安がよい

5 暮らしの中に、「できる。」がふえる。

まちの情報をみんなで伝え合ったり、忙しくて市役所に行く時間がなくとも電子手続きで窓口サービスを利用できたり、病院に通えなくても遠隔で診療を受けられたり。新しいテクノロジーと、人と人の支え合いによって、これまで諦めていたことや難しかったことが、どんどん「できる。」に変わっています。

イラスト イラスト イラスト イラスト イラスト
イラスト イラスト イラスト イラスト イラスト

- 「行かない・書かない・待たない」市役所で心配ないさ！
- 家に居ながら届出を出せる。窓口時間を気にせず申請ができると便利。
- あつたかい！T利用が進むまち。
- 居心地がよい場所を見つけた！
- 一緒にチャレンジする仲間が増えた。

未来に向けて行うこと

- ① 市役所での各種申請・届出等を、自宅や会社などからインターネットを通じてオンラインで手続きができるようにします。
- ② みんなの生活にデジタルが溶け込んで、快適に自分らしく生活が送れるように支援します。
- ③ 人と人とのつながりを通して、お互いの支え合いを感じ、誰もが誰かの幸せに関わっている実感を高めます。

〔分野〕

- ① 行政サービスのデジタル化の推進
- ② 市民生活のデジタル化の支援
- ③ 地域のウェルビーイングの推進

10年間の指標 | 市民の実感

- 行政サービスのデジタル化が進み、生活の利便性が高まった
- 仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい
- 誰かとつながる機会や場所を通して、やりたいことやできることが増えた

6 好きなときに、好きなところへ。

自動運転などのテクノロジーや、人と人の助け合いを活かして、マイカーがなくても、免許を返納しても、自分の行きたいところへ出かけることができます。新しい地域モビリティやバス・鉄道、ご近所さんとの乗り合いを組み合わせて、いろんな移動が実現。移動中に生まれる人と人の“ふれあい”も、楽しみのひとつに。

イラスト イラスト イラスト イラスト イラスト
イラスト イラスト イラスト イラスト イラスト

- バスに乗って今日もおでかけ。
- アプリを使って移動をもっと便利に。
- ○○さん、買い物に行くけど一緒にいく？
- 交通安全への意識が高まり、みんながマナーを守っている。

未来に向けて行うこと

- ① 公共交通機関を使いやすくしたり、移動が困難な人をサポートする仕組みを整えます。
- ② 住民主体の生活支援や移動支援など、住民同士で支え合うための活動を立ち上げたり、充実させられるように支援します。
- ③ 交通事故を防ぐために、交通安全教育を行うとともに、ヘルメットの装着を促すなど、交通安全意識を高めます。

【分野】

- ① 公共交通・移動支援の充実
- ② 住民主体の支え合い活動の推進
- ③ 交通安全の啓発

10年間の指標 | 市民の実感

- 公共交通機関で好きなときに好きなところへ移動できる
- 地域の支え合いによる移動支援が充実している
- 交通事故が減少し、安心しておでかけできる

7

みんなが、主役。みんなが、ファン。

年齢や性別、国籍、障がいの有無などにかかわらず、
一人ひとりの個性が活かされて、みんなが好きなこと、得意なことを楽しめるまち。
そして、なりたい自分に近づけるまち。
いろいろな人がいて、誰もがどこかに「主役」になれる場所を持っていて、
それぞれが誰かの「ファン」でもあって、お互いに応援し合っています。

- 平和を思う心と行動する姿が、まちじゅうに広がっている。
 - 性別に関係なく自分の望むキャリアを形成することができる。
 - 多様性が尊重され、自分らしく輝ける。
 - 障がい者や高齢者なども社会の一員としていきいきと暮らしている。
 - 認知症の人が社会で安心して暮らせている。
 - いろんな人がいるからいいね！

未来に向けて行うこと

- ① すべての人の人権が尊重され平和に関する意識が高まり、共に生きる社会をつくります。
 - ② 性別による役割分担や差別をなくし、誰もが自分らしく生きられる社会をつくります。
 - ③ 障がいのある人が安心して暮らし、活躍できるように支援します。
 - ④ 認知症の人とその家族をはじめすべての高齢者が安心して暮らせる地域共生社会を目指します。
 - ⑤ 世界と積極的につながり、交流や協力をより深められる仕組みを充実させます。

〔分野〕

- ① 人権の尊重と平和意識の向上
 - ② 男女共同参画の推進
 - ③ 障がい者福祉の充実
 - ④ 認知症の人とその家族等への支援体制の充実
 - ⑤ 多文化共生と国際交流の推進

10年間の指標 | 市民の実感

- 一人ひとり、誰もが尊重されている
 - 自分を大切に、自分らしく暮らしている
 - 女性が安心して自分らしい生き方を選んでいる
 - 障がいの有無に関係なく活躍できる
 - 認知症に関する理解が進んでいる
 - 異文化に触れる機会がある

8 支えて、支えられて、活かし合って。

誰かがいつも「支えられる側」になるのではなくて、
自分の長所や特技・経験を活かして、誰かを「支える側」にもなれるまち。
お互いに気兼ねなく頼みごとができるたり、
周りの大人たちに支えられて成長した子どもが、
自分も誰かを支える側になったり、支え合いの循環が広がっています。

イラスト イラスト イラスト イラスト イラスト
イラスト イラスト イラスト イラスト イラスト

- だれも「ほっとかへん。」、
だれも「ほっとかれへん。」まちになっている。
- あちらこちらでおすそわけ。
- 近所のお年寄りが子どもと昔遊びで遊んでいる。
- モックル介護予防体操で、みんなの背筋がピーン！

未来に向けて行うこと

- ① みんなが安心して暮らせるように、顔の見える関係を築き、支え合える地域づくりを進めます。
- ② みんなが安心して社会保障制度を利用できるように、ルールに従って適切に運営します。
- ③ 高齢者や介護が必要な人が、安心して介護サービスを受けられるように、介護保険制度を適切に運営し、持続可能な制度を構築します。

〔分野〕

- ① 地域福祉の推進および孤独・孤立対策
- ② 社会保障制度の適正な運営
- ③ 介護保険制度の適正な運営

10年間の指標 | 市民の実感

- まわりの人が困っていたら手助けする
- 心配事や愚痴を聞いてくれる人がいる
- 介護・福祉サービスが受けやすい

9

あたらしい一步、踏み出し放題。

年齢や経験を重ねても、

失敗を恐れずいろんなことにチャレンジできて「このまちでよかった。」と思える場所。

新しい一步を踏み出すとき、「このまちがいい。」と思える場所。

周りのみんなも、その一步を応援してくれるから、

やりたいことを次々と実現させることができます。

イラスト イラスト イラスト イラスト イラスト
イラスト イラスト イラスト イラスト イラスト

- 定年退職した人が、かつての夢に挑戦できる。
- 子育てを終えた人がお店を開き、人気店になっている。
- 周りの人と一緒に、地域で活動を開始！
- 最先端技術と地域のコラボで課題を解決！
東大先端研と連携してるって知ってる？

未来に向けて行うこと

- ① 地域や社会のために活動したい人、
新しく事業を始めたい人など、
「なりたい自分に近づきたい人」を応援します。
- ② 行政(公)・市民や企業(民)・大学や研究機関(学)
の連携を加速させ、「まちの価値」を高めます。
- ③ 誰もが働きやすい環境を整えます。

〔分野〕

- ① 社会活動・起業のサポート
- ② 公民連携の推進
- ③ 雇用の確保および就労・労働環境の充実

10年間の指標 | 市民の実感

- 社会活動や起業等、
新しいことに一步を踏み出すための後押しがある
- たくさんの企業がまちを応援してくれている
- 働きやすい企業が増えている

10 地域がまるごと、学校。

学校でたくさんのこと学到べて、学校の外にも学びがいっぱいあるまち。
河内長野の子どもたちは、地域でのさまざまな経験を通して、
学力とともに豊かな心や健やかな体を育んでいます。
「生きる力」をそなえ、知・徳・体の調和がとれた子どもたちが、
社会で活躍することがまちの希望になっています。

イラスト イラスト イラスト イラスト イラスト
イラスト イラスト イラスト イラスト イラスト

- 子どもたちが探求心でみなぎっている。
- いじめは、すべて発見解決！
- ゴルフに手芸にスケボーに、クラブ活動の選択肢が増えている。

未来に向けて行うこと

- ① すべての子どもたちの可能性を引き出すため、学校教育を充実させます。
- ② 子どもたちが、安全で安心して、健やかに学ぶことができる教育環境を充実させます。
- ③ 青少年が、心も体も健全に、安心して活動できる居場所づくりを進めます。
- ④ 部活動を地域に移行し、活動を見直します。

〔分野〕

- ① 学校教育の充実
- ② 教育環境の充実
- ③ 青少年の健全育成
- ④ 部活動の地域移行・再編

10年間の指標 | 市民の実感

- 児童・生徒が将来の夢や希望を持っている
- 小中学校の教育環境が整っている
- 青少年が心も体も健全に成長している
- 中学校のクラブ活動が充実している

11 学びを、誰かの喜びに。

いくつになっても、多様な学びの場が身近にあるまち。
そして、学んだことを自分の中だけに留めるのではなくて、
知識や技術を、人のため、まちのために活かすことで、
誰かの喜びも、人の役に立てる自分自身の喜びも生まれています。
豊かな「学び」と「喜び」の循環を、河内長野から。

イラスト イラスト イラスト イラスト イラスト
イラスト イラスト イラスト イラスト イラスト

- 「学びたい」を叶える場所がたくさんある！
- ボクのアウトプット、みんなのインプット。
- インクルーシブスポーツなど、多様なスポーツを楽しめる場所があり、教えてくれる人もいる。
- 図書館で大人も子どもも読書に夢中！

未来に向けて行うこと

- ① 年齢に関わらず誰もが学べる機会を増やし、学び続けられるようにします。
- ② 年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、誰でも運動やスポーツに参加できる機会を増やします。
- ③ 読書活動を推進するとともに、図書館で市民自らが課題解決できる環境を充実させます。

〔分野〕

- ① 社会教育の推進
- ② スポーツの推進
- ③ 図書館の充実

10年間の指標 | 市民の実感

- 学びたいことを学ぶ機会がある
- スポーツを楽しめる環境がある
- 図書館のサービスが充実している

12 住(じゅう)を、もっと自由に。

戸建てや団地、マンションでの暮らしも、古民家の活用も、いろいろな住み方、暮らし方を自由に選択できるまち。たとえば、平日はニュータウンで生活し、週末は集落の田畠に出かけたり、空き家をリノベーションして仕事の拠点にしたり、多様な地域の魅力を活かして暮らしの楽しみ方が広がっています。

イラスト イラスト イラスト イラスト イラスト
イラスト イラスト イラスト イラスト イラスト

- 二拠点生活で休日にのんびり暮らせている。
- “住みたいランキング”で上位に！
- 地元に戻ってきた人が、実家近くの大きな空き家をリノベーションして住もうとしている。
- 河内材のあたたかみのある家が増えた。
- 農業移住が盛んになっている。

未来に向けて行うこと

- ① 市民が自分らしい暮らし方を選択できるようにします。
- ② 移住したい人への魅力発信や情報収集のサポートを充実させます。
- ③ 空き家の適正管理を促し、新たな活用につながる循環を生み出します。
- ④ 農地を有効に使って、農業や地域のために役立てます。

〔分野〕

- ① 多様な暮らし方の推進
- ② 移住定住の促進
- ③ 空き家対策・住宅流通の促進
- ④ 農地の活用

10年間の指標 | 市民の実感

- 家庭菜園やD.I.Y等、暮らしの中で楽しみを選択できる
- 河内長野の暮らしをおすすめできる
- 地域に若い世代が引っ越してきている
- 農業の担い手が確保されている

13 まちの顔を、笑顔でいっぱいに。

“まちの顔”になる場所がいくつもあって、たくさんの笑顔があふれる場所に。みんなの手で景観を美しくしたり、おいしいお店や楽しいスポットができたり、商店街の新しい活用法にみんなでチャレンジしたり。地元の人も、観光客の人たちも、いろんな所でいろんな「好き。」との出会いが生まれています。

イラスト イラスト イラスト イラスト イラスト
イラスト イラスト イラスト イラスト イラスト

- 商店街がまちの顔として親しまれるように。
- 新しくできた企業で働く移住者が増えている。
- 常連として通っていた店が市の広報紙で紹介され、市外からも客がくる人気店に！
- 「つまようじ」などの伝統産業に注目が。
- 駅前に人が自然と集まる場所があり、活気にあふれている。
- まちのいたるところで季節の花がお出迎え。

未来に向けて行うこと

- ① 商店街や地域の産業を元気にしたり、新しい企業を呼び込み、まちにぎわいづくりに向けて取り組みます。
- ② 地域の特性に応じて計画的にまちの整備を進めます。
- ③ 駅前を再生し、利便性の向上や活性化を進めます。
- ④ まちの景観を保ち、美化意識の「輪」を広げます。

〔分野〕

- ① 産業の振興および企業の誘致
- ② 市街地整備の推進
- ③ 中心市街地・拠点の活性化
- ④ 魅力的な景観の形成

10年間の指標 | 市民の実感

- 商店街や道の駅など、活気づいている場所がいくつもある
- 飲食を楽しめる場所が充実している
- 楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある
- 楽しめるイベントがある
- まちの景観が美しく維持されている

14 サクセスフルな、サステナブル。

自然を守る活動がもっと盛んになり、大切な資源が循環し続けるまちに。

自然だけでなく、道路や公園などの社会基盤も、自治会活動などのコミュニティも、農業や地場産業も、市役所の安定した運営も、みんなの力で安心して暮らし続けられる環境が整い、持続可能なまちづくりのモデルケースになっています。

イラスト イラスト イラスト イラスト イラスト
イラスト イラスト イラスト イラスト イラスト

- 無理なく無駄なく住み続けられるまちづくりができている。
- ごみ収集のお兄さん・お姉さんと笑顔でいさつ。
- 市役所の職員のウェルビーイングが実現し、やりがい度アップ、健康度アップ、地域貢献度アップ！
- IT化で負担のない自治会運営ができている。
- 施設がきれいでよく利用できる。

未来に向けて行うこと

- ① 美しい自然と大切な資源、平穏な生活環境を守り、持続可能なまちの環境を次世代へつないでいきます。
- ② 地域経済の活性化や市役所の仕事の効率化のほか、「現場視点」による事業の見直しや、「全庁視点」による業務改革の推進により、「持続可能な行財政運営」を行い、市民が安心して暮らせるまちをつくります。
- ③ 公共建築物を適切に維持管理し、安全・安心な施設利用の環境を維持します。
- ④ 都市インフラの維持管理を計画的に進めます。

〔分野〕

- ① 循環型社会の構築および生活環境の確保
- ② 持続可能な行財政の運営
- ③ 持続可能な公共建築物の維持管理
- ④ 持続可能な都市インフラの維持管理

10年間の指標 | 市民の実感

- リサイクルや再エネ活用等、環境への取組みが盛んである
- 行政が地域のことを真剣に考えている
- 公共建築物は計画的に適切に更新され、安心して利用できる
- 都市インフラは適切に維持管理され、安心して利用できる

15 “ここにしかない”時間を求めて。

都心から30分の場所にありながら、自然や文化・歴史を感じられるまち、河内長野。
自然と親しむアウトドア体験、ながく大切に守り継がれてきた神社仏閣。
“ここにしかない”時間がゆっくりと流れています。
国内外から多くの人を惹きつける魅力になっています。
慌ただしい日々の中で失った時間を取り戻し、豊かな時間を蓄えていく。
そんな時間の楽しみ方が、ここにはあります。

イラスト イラスト イラスト イラスト イラスト
イラスト イラスト イラスト イラスト イラスト

未来に向けて行うこと

- ① 観光客を誘致し、
河内長野の時間を楽しむ人を増やします。
- ② 河内長野の魅力を発信し、
「選ばれるまち」にしていきます。
- ③ 河内長野の豊かな自然を活用し、市民や観光客が、
より自然に親しめるようにするとともに、
豊かな森林づくりに努めます。
- ④ 多様な人々の参画を得て、
歴史文化遺産を学び、伝え、活かします。

【分野】

- ① 観光の振興
- ② 魅力の発信
- ③ 自然資本の活用
- ④ 歴史文化遺産の調査・保存・活用

10年間の指標 | 市民の実感

- 日本一、気分転換できるまち。
- 国内外から観光地として選ばれるまちになっている。
- 滝畑の滝めぐりがSNSで有名になっている。
- 自然と歴史と私らしさに出会えるまち。

- まちが観光で盛り上がっている
- 河内長野の知名度が上がっている
- 豊かな自然が有効に活用されている
- 歴史文化遺産の保存と活用ができている

16 地産地消で、日本一の給食カレーを。

恵まれた自然と農業の担い手たちの力を掛け合わせて、地産地消が進み、

河内長野産のおいしい食材が、まちの食卓を彩っています。

学校の給食でも

地元で採れた野菜をつかった“日本一おいしい給食カレー”がつくれるくらい、

農業と食育が活発になり、みんなの健康を支えています。

イラスト イラスト イラスト イラスト イラスト
イラスト イラスト イラスト イラスト イラスト

- 子どものころにみんなで食べた給食の味が忘れられない。
- 道の駅が河内長野産の野菜であふれかえっている。
- スーパーで子どもが「河内長野の野菜がいい！」と言っている。
- 彩りやバランスの良い食事って、おいしいね。

未来に向けて行うこと

① 学校給食での

地元食材や行事食の提供などの取組みにより、
望ましい食習慣を身に付け、
心豊かで健康な生活の基礎を養います。

② 自然の恵みを活かし、

地元農業を盛んにして新鮮な農産物を
学校給食の食材などとして届けます。

③ 地産地消や食育を通じて、

みんなの健康的な食生活を支えます。

〔分野〕

- ① 学校給食の充実
- ② 農業の振興
- ③ 食生活の充実

10年間の指標 | 市民の実感

- 学校給食に満足している
- 地元産の食材を目にすることが増えた
- 健康的な食生活を心掛けている

17 “推し”と出会えて、育てるうれしさ。

地域に息づく歴史や文化財、お祭り、よく行くお店や公園、
河内長野を拠点にするスポーツチームやアーティスト、企業やボランティア団体……、
一人ひとりが自分の“推し”と出会えて、
ただ遠くから見守るだけではなく近くで応援できるような、
ワクワクするつながりがまちにあふれています。

イラスト イラスト イラスト イラスト イラスト
イラスト イラスト イラスト イラスト イラスト

- “推し”のチームの応援でスタジアムが連日満員。駅前で優勝パレードが行われている。
- 「日月四季山水図屏風」は河内長野で見れるんだって！
- 市民一人ひとりに市内の“推し”ポイントがある。
- まちを離れてもふるさと納税で応援！

未来に向けて行うこと

- ① 市民が文化芸術に主体的に参加する機会や、プロスポーツ等に触れる機会を充実させます。
- ② 文化・スポーツ団体への支援や連携促進を通じて、まちに関わり、それを誇りに思える人材を育てます。
- ③ 地元の魅力的な返礼品を通じて、ふるさと納税の寄附額を増やします。

〔分野〕

- ① 文化・スポーツの機会充実および普及啓発
- ② 文化・スポーツの連携促進および人材育成
- ③ ふるさと納税の推進

10年間の指標 | 市民の実感

- 多様な文化・スポーツ団体がある
- 文化芸術活動が盛んで誇らしい
- 自慢したい場所や応援したい活動・団体がある

18 「好き。」が集まれば、すごい力に。

河内長野がみんなの「好き。」であふれたまちになって、みんなで見つけて持ち寄ったいくつもの魅力が「まちのブランド」になり、広く全国へと伝わっていく。
みんなで愛着と誇りを持って、このまちでの暮らしを楽しむことが、そのまま、まちづくりにも活かされていく。そんな未来が、始まろうとしています。

イラスト イラスト イラスト イラスト イラスト
イラスト イラスト イラスト イラスト イラスト

- 「河内長野在住」というと羨ましがられる。
- 子どもたちが大人になっても住みたいと思っている。
- 「市民の幸福度が高い！」と全国で話題に。
- 河内長野市で働くことを誇りに思っている。
- みんなで河内長野のこと話そうよ。
- 河内長野の評判を聞きつけて遊びにくる人がたくさんいる。

未来に向けて行うこと

- ① 河内長野の魅力をみんなで見つけ、愛着と誇りを持ってまちを楽しみます。
- ② 市民や市役所職員がまちの魅力を共有し、ブランドづくりに積極的に関わります。
- ③ 河内長野の「好き。」を全国に発信し、まちの魅力を広く伝えていきます。

【分野】

- ① シビックプライドの醸成
- ② 内部向けブランディングの推進
- ③ 外部向けブランディングの推進

10年間の指標 | 市民の実感

- まちに愛着と誇りを感じる
- このまちに住み続けたい
- 河内長野の知名度が上がっている

【資料編】

1. 河内長野市第6次総合計画のコンセプト

未来に“ワクワク”を感じる計画

総合計画は、行政だけでなく、市民や事業者など、まちに関わる皆さん、それぞれの立場で行動するための“まちづくりの指針”です。

そのためには、この計画が、一人でも多くの方にご覧いただき、まちづくりを自分事と捉えていただくことが大切だと考えています。

新しい総合計画を作成することが決まったときから、市民にもわかりやすく、まちの魅力が伝わり、計画を通してまちの未来に“ワクワク”を感じていただけるものを作るということにこだわってきました。

2. 総合計画とブランディング

理念

ふだんを生きる、じぶんが生きる。
知るほど暮らすほど「好き。」が深まる千年都市。

河内長野市ブランドメッセージ

かわらずなが～くふだんのしあわせ

ブランディングとは、河内長野が持つ独自の魅力と特性を最大限に活かすとともに、新たに見出すことで、市の価値や認知度を高める戦略です。

市の存在意義を明確に示し、施策や活動を通じて、まちに関わる皆さんと理念を共有することで、一貫性のある行政運営で他の自治体と差別化を図ります。

まちがめざす未来を約束し、「誇れるまち」「暮らしたくなるまち」「訪れたくなるまち」が実現されるよう、ブランディングと統一的に施策を推進する計画とします。

3. 計画の位置づけ・期間・構成

総合計画の位置づけ

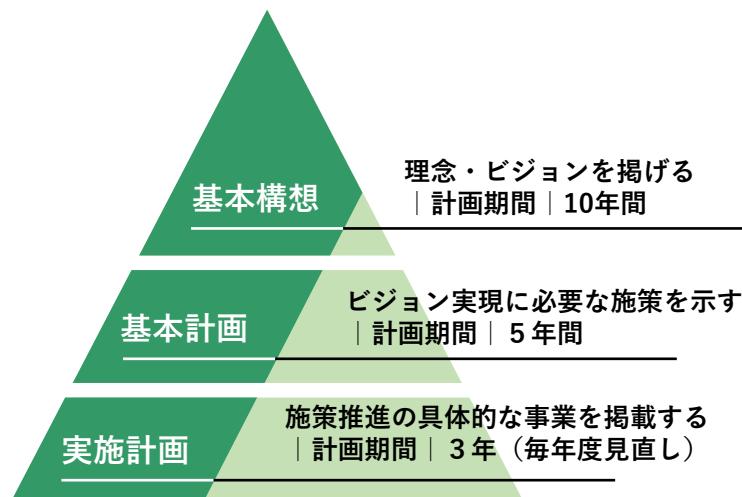
総合計画は、長期的なまちづくりを一体的・戦略的に進めるための指針となるもので、市政における最上位計画として位置づけます。

総合計画の期間

総合計画の期間は、2026（令和8）年度から2035（令和17）年度までの10年間です。

総合計画の構成

総合計画は、理念とビジョン（10年後のめざす姿）を掲げる「基本構想」、ビジョンを実現するために必要な施策を示す「基本計画」、施策を推進していくための具体的な事業を掲載する「実施計画」により構成します。

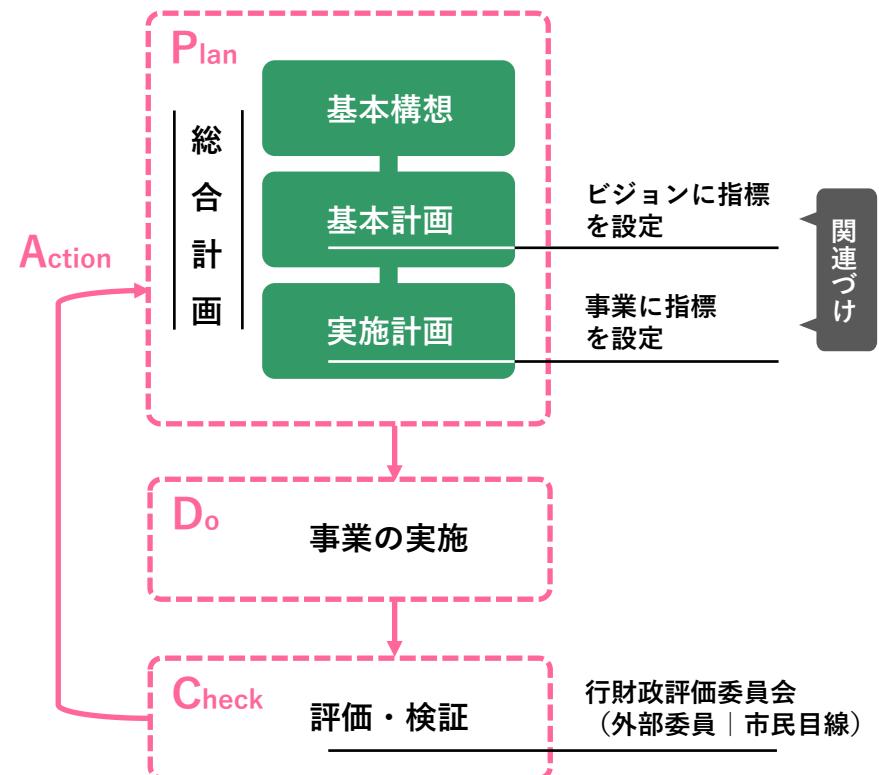


4. 総合計画の推進

P D C A サイクルによる進行管理

効果的・効率的に計画を推進するため、基本計画と実施計画に成果を表す指標を設定し、毎年、P D C A サイクルを通じた評価・検証を実施します。

なお、基本計画ではビジョンごとに主として主観的指標※を、実施計画では事業ごとに主として客観的指標※を設定し、それぞれを関連づけます。



5. 指標の設定

指標の初期値と10年後の目標

[アンケート]

出典の欄に「アンケート」と記載している項目は、毎年、まちに関わる皆さんを対象に実施するアンケートを指し、★の項目は10点満点、それ以外は5点満点で問うアンケートです。
()内は、5点満点に換算した数値です。

[目標値の設定（※人口に関する項目、空き家率、SNSフォロワー数を除く）]

それぞれの項目における満点と直近実績値との乖離のうち3割について、直近実績値から好転させた数値を目標値として設定しています。

※指標と目標値は、5年後（2030年）に検証し、必要に応じて見直します。

ビジョン		10年間の指標	直近実績値	目標値（2035年）	出典
No. 1 まちが元気、みんなも元気。	まちが元気、みんなも元気。	全体人口	96,861人(2025.10)	90,500人	河内長野市統計データ
		転入／転出の率	91.4%(2024年度)	110%	河内長野市統計データ
		若年（0-14歳）人口の”転入超過”	99人(2024年度)	350人	河内長野市統計データ
		空き家率	12.1%(2023.10)	10%以内	住宅・土地統計調査（総務省統計局）
		刑法犯認知件数	492件（暫定値） ※3月上旬に確定予定	344件 ※3月上旬に確定予定	大阪府警察ホームページ
		市公式SNSのフォロワー数	31,502 (2025.12)	100,000	各種SNS
		今の暮らしに幸せを感じる	7.3(3.9)	8.1(4.2)	アンケート★
		地域の人々が幸せそうに見える	6.6(3.6)	7.6(4.0)	アンケート★
		まちに愛着と誇りを感じる	3.7	4.1	アンケート
		このまちに住み続けたい	3.9	4.2	アンケート
No. 2 ホタルも、子どもたちも、光ってる。	ホタルも、子どもたちも、光ってる。	子育て支援が手厚く、安心して子育てができる	3.4	3.9	アンケート
		子どもたちがいきいきと暮らしている	3.6	4.0	アンケート
		身近に自然を感じることができる	4.6	4.7	アンケート
		まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	3.6	4.0	アンケート
No. 3 揺るがない安全と安心感。	揺るがない安全と安心感。	防災対策が進んでいて安心である	3.3	3.8	アンケート
		都市インフラは適切に維持管理され、安心して利用できる	3.4	3.9	アンケート
		防犯対策が進んでいて治安がよい	3.6	4.0	アンケート
		定期的な検診（健診）の受診や健康的な生活習慣を心掛けるなど、健康づくりに取り組んでいる	3.8	4.2	アンケート

ビジョン		10年間の指標	直近実績値	目標値（2035年）	出典
No. 4	人のつながりも、 大きな安心に。	地域活動（自治会・行事等）への市民参加が盛んである	3.0	3.6	アンケート
		自治会の運営が安定的に行われている	3.2	3.7	アンケート
		心配事や愚痴を聞いてくれる人がいる	3.4	3.9	アンケート
		まわりの人が困っていたら手助けする	3.9	4.2	アンケート
		〔再掲〕防災対策が進んでいて安心である	3.3	3.8	アンケート
		〔再掲〕防犯対策が進んでいて治安がよい	3.6	4.0	アンケート
No. 5	暮らしの中に、 「できる。」がふえる。	行政サービスのデジタル化が進み、生活の利便性が高まった	3.1	3.7	アンケート
		仕事や日常生活の場でデジタルサービスが利用しやすい	3.1	3.7	アンケート
		誰かとつながる機会や場所を通して、 やりたいことやできることが増えた	2.9	3.5	アンケート
No. 6	好きなときに、 好きなところへ。	公共交通機関で好きなときに好きなところへ移動できる	2.6	3.3	アンケート
		地域の支え合いによる移動支援が充実している	2.7	3.4	アンケート
		交通事故が減少し、安心しておでかけできる	3.2	3.7	アンケート
No. 7	みんなが、主役。 みんなが、ファン。	一人ひとり、誰もが尊重されている	3.4	3.9	アンケート
		自分を大切に、自分らしく暮らしている	3.9	4.2	アンケート
		女性が安心して自分らしい生き方を選んでいる	3.5	4.0	アンケート
		障がいの有無に関係なく活躍できる	3.2	3.7	アンケート
		認知症に関する理解が進んでいる	3.1	3.7	アンケート
		異文化に触れる機会がある	3.1	3.7	アンケート
No. 8	支えて、 支えられて、 活かし合って。	〔再掲〕まわりの人が困っていたら手助けする	3.9	4.2	アンケート
		〔再掲〕心配事や愚痴を聞いてくれる人がいる	3.4	3.9	アンケート
		介護・福祉のサービスが受けやすい	3.4	3.9	アンケート
No. 9	あたらしい一歩、 踏み出し放題。	社会活動や起業等、新しいことに一歩を踏み出すための後押しがある	2.8	3.5	アンケート
		たくさんの企業がまちを応援してくれている	3.0	3.6	アンケート
		働きやすい企業が増えている	2.6	3.3	アンケート
No. 10	地域がまるごと、 学校。	児童・生徒が将来の夢や希望を持っている	<小学生>83.7% <中学生>66.7% (2025.4)	<小学生>88.6% <中学生>76.7%	全国学力・ 学習状況調査 (文部科学省)
		小中学校の教育環境が整っている	3.4	3.9	アンケート
		青少年が心も体も健全に成長している	3.4	3.9	アンケート
		中学校のクラブ活動が充実している	2.7	3.4	アンケート

ビジョン		10年間の指標	直近実績値	目標値（2035年）	出典
No. 11	学びを、誰かの喜びに。	学びたいことを学ぶ機会がある	3.4	3.9	アンケート
		スポーツを楽しめる環境がある	3.3	3.8	アンケート
		図書館のサービスが充実している	3.9	4.2	アンケート
No. 12	住（じゅう）を、もっと自由に。	家庭菜園やD.I.Y等、暮らしの中で楽しみを選択できる	3.6	4.0	アンケート
		河内長野の暮らしをおすすめできる	3.5	4.0	アンケート
		地域に若い世代が引っ越してきている	2.9	3.5	アンケート
		農業の担い手が確保されている	2.3	3.1	アンケート
No. 13	まちの顔を、笑顔でいっぱいに。	商店街や道の駅など、活気づいている場所がいくつもある	2.5	3.3	アンケート
		飲食を楽しめる場所が充実している	2.5	3.3	アンケート
		楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	2.2	3.0	アンケート
		楽しめるイベントがある	2.8	3.5	アンケート
		まちの景観が美しく維持されている	3.4	3.9	アンケート
No. 14	サクセスフルな、サステナブル。	リサイクルや再エネ活用等、環境への取組みが盛んである	3.4	3.9	アンケート
		行政が地域のことを真剣に考えている	3.3	3.8	アンケート
		公共建築物は計画的に適切に更新され、安心して利用できる	3.3	3.8	アンケート
		〔再掲〕都市インフラは適切に維持管理され、安心して利用できる	3.4	3.9	アンケート
No. 15	“ここにしかない”時間を探して。	まちが観光で盛り上がっている	2.4	3.2	アンケート
		河内長野の知名度が上がっている	2.8	3.5	アンケート
		豊かな自然が有効に活用されている	3.3	3.8	アンケート
		歴史文化遺産の保存と活用ができている	3.6	4.0	アンケート
No. 16	地産地消で、日本一の給食カレーを。	学校給食に満足している	3.4	3.9	アンケート
		地元産の食材を目にすることが増えた	3.3	3.8	アンケート
		健康的な食生活を心掛けている	3.9	4.2	アンケート
No. 17	“推し”と出会えて、育てるうれしさ。	多様な文化・スポーツ団体がある	3.3	3.8	アンケート
		文化芸術活動が盛んで誇らしい	3.1	3.7	アンケート
		自慢したい場所や応援したい活動・団体がある	3.1	3.7	アンケート
No. 18	「好き。」が集まれば、すごい力に。	〔再掲〕まちに愛着と誇りを感じる	3.7	4.1	アンケート
		〔再掲〕このまちに住み続けたい	3.9	4.2	アンケート
		〔再掲〕河内長野の知名度が上がっている	2.8	3.5	アンケート

6. 策定の経過

策定体制

1. 庁内体制

(1) 河内長野市総合計画策定委員会

副市長を会長とし、教育長、局長級および部長級の職員を委員として構成します。策定委員会の下に部会を置き、策定委員会は、策定部会において作成された基本構想素案および基本計画素案（以下、「基本構想等素案」という。）を審議し、基本構想等素案の最終決定機関とします。

(2) 策定部会

策定部会は、部会長および部会員で組織し、室長級および課長級の職員で構成します。策定部会の下に作業部会を置き、策定部会は、作業部会を指揮し基本構想等素案を作成します。

(3) 作業部会

作業部会は、課長補佐級およびグループ長級の職員で構成し、策定部会の指揮のもと作業します。

2. 市民参画

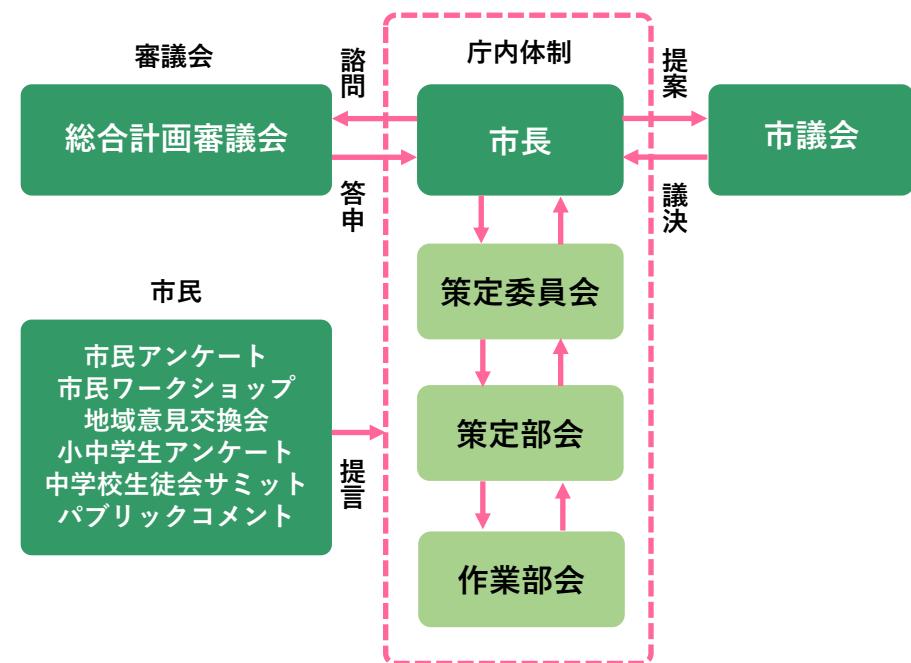
計画の策定にあたり、幅広い年齢層や立場からの意見やアイデアが反映されるよう、十分な市民参画を図ります。

- ①総合計画審議会に公募市民委員を起用
- ②市民アンケートを実施
- ③市民ワークショップを開催
- ④地域意見交換会を開催
- ⑤小中学生アンケートを実施
- ⑥連合生徒会（河内長野市中学校生徒会サミット）を開催
- ⑦パブリックコメントを実施

3. 審議会の設置

河内長野市総合計画審議会条例に基づき、総合計画審議会を設置します。

■策定体制イメージ



策定の歩み

時期	実施内容
2024年	5月 28日 第1回策定委員会
	6月 19日 第1回作業部会
	6～8月 市民アンケート
	7月 小中学生アンケート
	7月 4日 第2回作業部会
	7月 9日 関係部長会議（土地利用等）
	7月 19日 連合生徒会 (河内長野市中学校生徒会サミット)
	7月 31日 第3回作業部会
	8月 25日 第1回市民ワークショップ
	9月 14日 第1回地域意見交換会
	9月 21日 第2回市民ワークショップ
	9月 22日 第2回地域意見交換会
	10月 5日 第1回総合計画審議会<全体会>
	10月 11日 第1回総合計画審議会<第1部会>
	10月 15日 第1回総合計画審議会<第3部会>
	10月 21日 第1回総合計画審議会<第2部会>
	10月 30日 第1回総合計画審議会<正副部長会議>
	12月 13日 第2回総合計画審議会<第2部会>
	12月 14日 第2回総合計画審議会<第3部会>
	12月 26日 第2回総合計画審議会<第1部会>

時期	実施内容
2025年	1月 14日 第4回作業部会
	1月 17日 第1回策定部会
	2月 12日 第2回策定委員会
	2月 14日 第3回総合計画審議会<第1部会>
	2月 17日 第3回総合計画審議会<第2部会>
	2月 20日 第3回総合計画審議会<第3部会>
	2月 21日 第2回総合計画審議会<正副部長会議>
	3月 17日 第2回総合計画審議会<全体会>
	4月 11日 市議会（全員協議会）に基本構想（案）のパブリックコメントについて報告
	4～5月 基本構想（案）に関するパブリックコメント
	4月 27日 河内長野市第6次総合計画シンポジウム
	6月 25日 基本構想議決
	7月 17日 連合生徒会（河内長野市中学校生徒会サミット）
	7月 23日 第2回策定部会
	8月 6日 第5回作業部会
	9月 29日 第3回策定部会
	10月 28日 第3回策定委員会
	12月 15日 市議会（全員協議会）に基本計画（骨子案）について報告
	12～1月 市政アンケート
2026年	1月 8日 第4回策定委員会
	1月 13日 第4回策定部会
	2月 17日 市議会（全員協議会）に基本計画（案）に関するパブリックコメントについて報告
	2～3月 基本計画（案）に関するパブリックコメント

策定の歩み（概要 | 主なもの）

市民アンケート

対象	河内長野市民
調査方法	WEBアンケート（市ホームページに掲載） 紙アンケート（市役所や公民館等で案内）
実施時期	2024年6月28日～8月19日
回収結果	429件

小中学生アンケート

対象	市立小学校5・6年生および中学校1～3年生
調査方法	WEBアンケート（各小中学校を通して案内）
実施時期	2024年7月8日～7月25日
回収結果	461件

市民ワークショップ

対象	河内長野市在住・在勤・在学の方
開催日時	【第1回】2024年8月25日（日）13時30分～16時30分 【第2回】2024年9月21日（土）9時30分～12時30分
参加者数	【第1回】32名 【第2回】43名

地域意見交換会

対象	自治会代表者等
開催日時	【第1回】2024年9月14日（土）14時～16時 【第2回】2024年9月22日（日）14時～16時
参加者数	【第1回】25名 【第2回】9名

連合生徒会（河内長野市中学校生徒会サミット）

対象	市立中学校生徒会役員
開催日時	【2024年の開催】7月19日（金）13時30分～15時55分 【2025年の開催】7月17日（木）14時～16時25分
参加者数	【2024年の開催】36名 【2025年の開催】36名

パブリックコメント

①基本構想

募集期間	2025年4月14日～5月6日
回収結果	29名、56件

①-2 河内長野市総合計画シンポジウム
(基本構想パブリックコメントの一環として開催)

開催日時	2025年4月27日（日）9時30分～11時30分
参加者数	約100名

②基本計画

募集期間	2026年2月20日～3月15日
回収結果	●名、●件

7. 河内長野市総合計画審議会

委員名簿

- 委員38名 敬称略 各部会、選出区分ごと五十音順
- ◎は部会長 ○は副部会長
- 「所属」は、委嘱時のものを記載（ただし、市民公募委員は「公募委員」と記載）

会長

嘉名 光市	大阪公立大学大学院 工学研究科 都市系専攻 教授	学識経験を有する者
-------	--------------------------	-----------

副会長（第3部会長兼務）

嶋田 裕光	大阪経済法科大学 経済学部 教授	学識経験を有する者
-------	------------------	-----------

第1部会（福祉・教育）

氏名	所属	選出区分
浦山 宣之	河内長野市議会	市議会議員
吉竹 英行	河内長野市議会	
梅崎 晋吾	河内長野市三師会 会長	各種団体の代表
島田 忠	特定非営利活動法人河内長野市総合スポーツ振興会 理事長	
玉崎 和実	社会福祉法人河内長野市社会福祉協議会 会長	各種団体の代表
林 玲子	teamあごら	
前田 恭男	公益財団法人河内長野市文化振興財団 常務理事	各種団体の代表
峰 宏司	河内長野市青少年健全育成協議会 会長	
山田 昭儀	河内長野市老人クラブ連合会 会長	公募
河村 真一	公募委員	
松本 心音	公募委員	学識経験を有する者
○中道 厚子	大阪大谷大学 人間社会学部 スポーツ健康学科 教授	
◎松端 克文	武庫川女子大学 文学部 心理・社会福祉学科 教授	

第2部会（都市・環境・経済）

氏名	所属	選出区分
駄場中大介	河内長野市議会	市議会議員
峯 満寿人	河内長野市議会	
生地 孝至	河川を美しくする市民の会 会長 (R6.12.30まで)	
森川 栄司	河川を美しくする市民の会 副会長 (R7.2.1から)	
奥野 豊	大阪府森林組合 副組合長理事	
垣内 俊夫	大阪南農業協同組合 非常勤監事	
西尾 元嗣	河内長野市商工会 会長	各種団体の代表
野谷 将一	南海バス株式会社 常務取締役 企画部長	
松崎 彰宏	南海電気鉄道株式会社 公共交通グループ 経営統括部 課長	
望月 教佳	河内長野市観光協会 会長	
福島 久美子	公募委員	公募
藤林 寿行	公募委員	
○安部 誠治	関西大学 名誉教授	
○江川 直樹	関西大学 名誉教授	学識経験を有する者

第3部会（協働・行財政）

氏名	所属	選出区分
堀川 和彦	河内長野市議会	市議会議員
若林 靖	河内長野市議会	
池田 敏彦	河内長野市自主防災協議会 会長	
上尾 和弘	美加の台まちづくり協議会 会長	
大山 浩司	小山田小学校区連合自治会 会長	各種団体の代表
山口 親房	河内長野市防犯協議会 会長	
鉢谷 祐二	公募委員	公募
竹原 義治	公募委員	
○嶋田 裕光	大阪経済法科大学 経済学部 教授	
○三村 秀和	東京大学 先端科学技術研究センター 教授	学識経験を有する者

河内長野市総合計画審議会条例

昭和43年10月21日
条例第37号

(設置)

第1条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定に基づき、河内長野市総合計画審議会(以下「審議会」という。)を置く。
(所掌事務)

第2条 審議会は、市長の諮問に応じ河内長野市総合計画に関する事項について調査及び審議する。

(組織)

第3条 審議会は委員50名以内で組織する。

2 委員は次に掲げる者のうちから市長が任命する。

- (1) 市議会議員
- (2) 一般住民
- (3) 学識経験を有する者
- (4) 市及び関係行政機関の職員

(任期)

第4条 委員は当該諮問に係る審議が終了したときは解任されるものとする。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 審議会に会長及び副会長各1名をおく。

2 会長及び副会長は委員の互選により定める。

3 会長は会務を総理し、審議会を代表する。

4 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときその職務を代理する。

(会議)

第6条 審議会は会長が招集し、会長がその議長となる。

2 審議会は委員の定数の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 審議会の議事は出席委員の過半数で決し、可否同数のときは会長の決するところによる。

4 審議会の会議において必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聞くことができる。

(部会)

第6条の2 会長が必要と認めたときは、審議会の所掌事務を分掌させるため、審議会に部会を置くことができる。

2 部会は、会長の指名する委員をもって組織し、部会長は部会委員の互選による。

3 部会長は、第1項の規定によりその部会に分掌させられた事務を掌理し部会における審議の経過及び結果を審議会の会議に報告しなければならない。

4 部会長に事故あるときは、部会に属する委員のうちからあらかじめ部会長が指名した者がその職務を代理する。

5 前各項に定めるもののほか、部会の運営について必要な事項は部会長が会長の同意を得て定める。

(庶務)

第7条 審議会の庶務は、別に定める部署において処理する。

(雑則)

第8条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営について必要な事項は市長が定める。

附則

この条例は、公布の日から施行する。

附則(昭和59年4月1日条例第17号)

この条例は、公布の日から施行する。

附則(平成6年3月30日条例第5号)

この条例は、公布の日から施行する。

附則(平成12年12月26日条例第32号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成13年4月1日から施行する。

附則(平成25年12月20日条例第39号抄)

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

8. 質問と答申

質問

河長政企 第64号
令和6年10月5日

河内長野市総合計画審議会
会長 嘉名 光市 様

河内長野市
市長 西野 修平

河内長野市第6次総合計画の基本構想案の策定について（質問）

河内長野市総合計画審議会条例第2条に基づき、下記のとおり質問します。

記

本市では、平成28年度からの10年間を計画期間とする「第5次総合計画」に基づき、「人・自然・歴史・文化輝くふれあいと創造のまち河内長野」を将来都市像としてまちづくりを進めているところですが、計画期間が、令和7年度をもって満了することから、新たに、令和17年度を目標年次とした「第6次総合計画」（令和8年度～令和17年度）を策定することとしました。

新たな総合計画については、市民にとってわかりやすく、市の魅力が伝わるものにしたいと考えています。また、一人でも多くの市民に手に取っていただき、計画を通して市の未来に“ワクワク”を感じるような基本構想案について、ご審議いただきますようよろしくお願ひします。

答申

令和7年5月22日

河内長野市長 西野 修平 様

河内長野市総合計画審議会
会長 嘉名 光市

河内長野市第6次総合計画の基本構想案の策定について（答申）

標記の件について、令和6年10月5日付け河長政企第64号にて本審議会に質問があり、市民意見を踏まえながら審議しました結果、河内長野市第6次総合計画の基本構想案を別添のとおり取りまとめましたので答申します。

この総合計画では、理念を「ふだんを生きる、じぶんが生きる。知るほど暮らすほど「好き。」が深まる千年都市。」と掲げ、今まで大切に受け継がれてきた「ふだんの暮らし」を次の時代でも守り続け、子どもたちがのびのび成長できる環境も、自分らしい暮らしの楽しみ方も、年齢にかかわらず新しいことに挑戦するチャンスも、まちに関わるみんなでつくっていこうというメッセージを込めています。

今回の基本構想は、市民が市の未来に“ワクワク”を感じ、まちづくりを自分事として捉えていただけるよう、河内長野を想うみんなで熱い議論を重ねて策定したものです。今後の基本計画の策定においては、少しずつ若い世代に選ばれ始めているまちのターニングポイントを捉え、「明るい兆し」を「光」にすべく、基本構想で描いた「市のありたい姿」の実現に必要な施策をしっかりと示していただきますようお願いします。

9. 用語集

	単語	説明
あ	インクルーシブスポーツ	障がいの有無、年齢、性別、国籍等に関わらず、誰もが楽しめる包摂性のあるスポーツ。
	インターネット	全世界で相互接続されたコンピューター・ネットワーク。
	インフラ	産業や社会生活の基盤となる施設。
	ウェルビーイング	一般的に、身体的・精神的・社会的によい状態が続いていること。市では、この3分野に、自分らしく生きていられるを感じる状態である「自己存在的」を加えた4分野でのウェルビーイングをめざしている。
	オンデマンドバス	予約により運行されるバスで、決められたエリア内の乗降場所であれば、発着地点を自由に組み合わせができる運行手法。
か	客観的指標	個人の感情や認知に左右されず、データや事実に基づいて計測・評価できる指標。
	協働	それぞれの主体性・自発性のもとに、お互いの存在意義を認め尊重し合い、対等の立場でそれぞれが持つ資源を出し合い、補い合うことで、共通の目的を達成するために、協力、協調すること。
	刑法犯認知件数	警察において（被害の届け出や告訴などにより）発生を認めた刑法犯の件数。なお、刑法犯とは、刑法に定められている罪を犯すことで、凶悪犯、粗暴犯、窃盗犯、知能犯、風俗犯、その他（住居侵入や器物損壊など）の6つに分類される。
さ	再エネ	「再生可能エネルギー」の略。太陽光、風力、その他の非化石エネルギーのうち、永続的に利用できるもの。
	主観的指標	本人が「どう感じるか」「どう思っているか」という内面的な状態を評価する指標。
	サステナブル	英語で「持続可能な」「維持できる」という意味を表す形容詞。日本語では「サステイナブル」「サステイナブル」と表記することもある。社会面・環境面を考慮しながら、経済活動を持続可能な形で発展させるための概念。
	市街化調整区域	都市計画法による都市計画区域のうち、原則として開発が抑制されている区域。
	シビックプライド	住民が抱く地域への愛着や誇り。
	諮問	専門家や有識者に対して意見を尋ね求めるこ。

さ	社会保障制度	社会保険、社会福祉、公的扶助、保健医療・公衆衛生など、国民の「安心」や生活の「安定」を支えるセーフティネット。
	住民基本台帳	市町村で居住関係の公証、選挙人名簿へ登録その他の事務処理の基礎とともに住民に関する記録の適正な管理をするために作成される台帳。
	循環型社会	大量生産・大量消費型の社会に代わり、製品の再利用や再資源化などにより新たな資源投入を抑えることをめざす社会。
	生物多様性	遺伝子・生物種・生態系それぞれのレベルで多様な生物が存在していること。
た	多文化共生	国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。
	地域福祉	人々が安心して幸せに暮らせるよう、地域住民や社会福祉関係者など地域全体で支え合い、地域の福祉課題の解決に取り組む考え方。
	答申	諮詢（専門家や有識者に対して意見を尋ね求めるこ）に対して、回答をすること。
	都市機能	電気や水道、交通手段、行政機能、商業、教育、観光など都市が持つ機能。
な	認知症	脳や身体の疾患を原因として、記憶・判断力などが徐々に低下して日常生活に支障をきたすようになった状態。認知症は病気であり、単なるもの忘れとは区別される。
	ネットワーク型コンパクトシティ	都市の郊外への拡大を抑制するとともに中心市街地の活性化を図り、生活に必要な機能が集約した効率的で持続可能な都市、またはそれをめざした都市政策。
は	パブリックコメント	行政が政策、制度等を決定する際に、市民の意見を聞き、それを考慮しながら最終決定を行う仕組み。
	P D C A サイクル	Plan（計画）、Do（実施）、Check（評価）、Action（改善）の視点をプロセスの中に取り込むことで、継続的な改善を推進するマネジメント手法。
ま	マネジメント	目標、目的を達成するために必要な要素を分析し、様々な資源やリスクなどを管理しながら、効果を最適化しようとする手法。
	モビリティ	動きやすさや可動性を指す言葉で、主に人やモノの移動に関するあらゆる事柄を含む概念。
ら	ライフステージ	人間の一生を幼年期・児童期・青年期・壮年期・老年期などと分けた、それぞれの段階。

かわらすなが～く
ふだんのしあわせ



河内長野市第6次総合計画

2026年度 ▶ 2035年度

発行 | 2026年3月
河内長野市

〒586-8501 大阪府河内長野市原町一丁目1番1号
TEL 0721-53-1111
編集 | 成長戦略局 成長戦略部 秘書企画課

